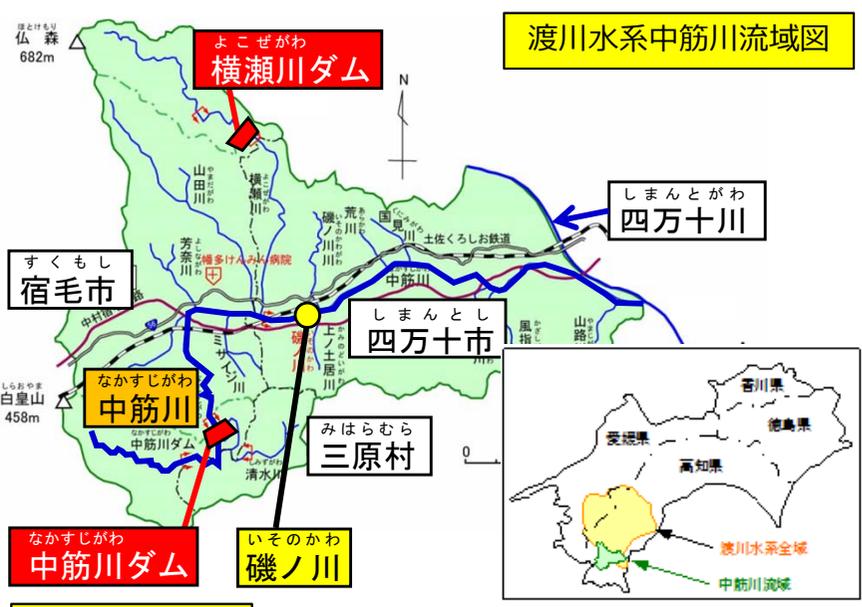


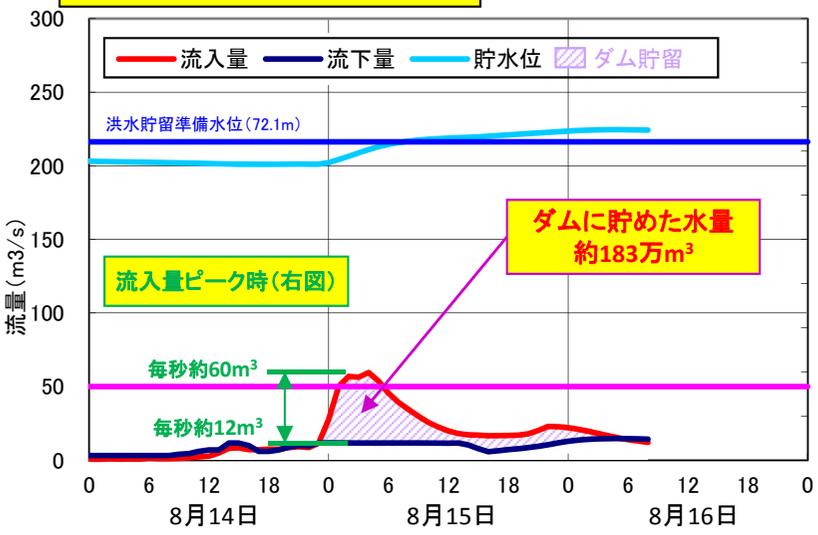
中筋川ダムと横瀬川ダムの効果 (高知県・渡川水系中筋川)

- 台風第10号により中筋川ダム上流域では、8月14日2時～15日22時までに累計249mm (時間最大36mm・14日23時) の降雨を観測。
- 中筋川ダムでは、事前放流 (8月8日14時～14日16時) により、水位を約5.6m低下させ、洪水貯留に使用できる容量を通常 (860万m³) より100万m³多く確保。
- 中筋川ダムでは、ダムへの最大流入量約60m³/sの約80%をダムで貯留し、ダム下流への流下量を毎秒約12m³に低減し、磯ノ川地点の水位を約51cm低下。
- 横瀬川ダムが完成した場合には、磯ノ川地点の水位をさらに約22cm低下する効果が期待できると推定。

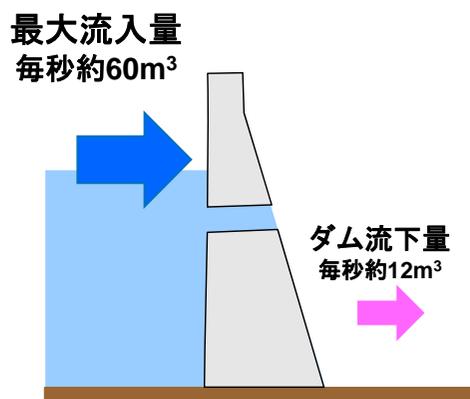


中筋川ダムの洪水貯留状況

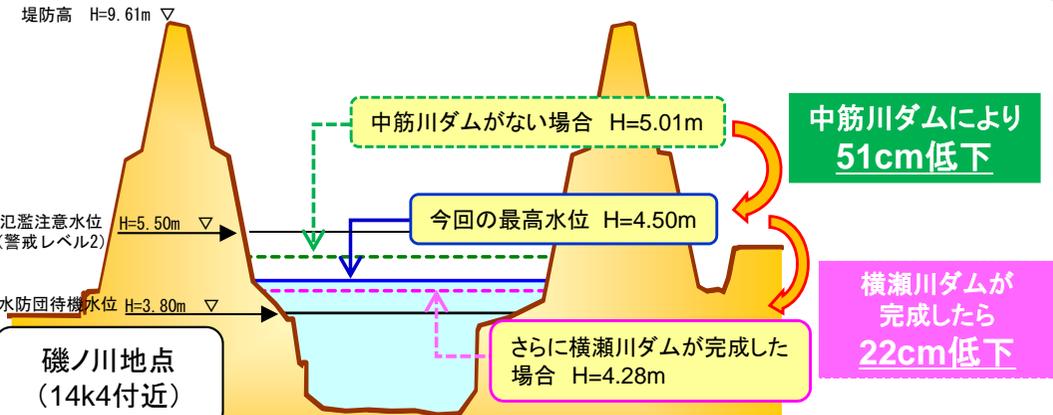
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



最大流入時の中筋川ダム



ダムの効果



出水時の状況 (中筋川ダム)



洪水貯留前 (8月14日16時)

洪水貯留後 (8月16日9時)

※上記 (H: 量水標) の値に0.577mを加えた値が標高 (m) となります。